Concept

Smart Wellness Town
PEP MOTOMACHI

Smart Wellness Town
PEP MOTOMACHI

地域の子どもが元気に育つ環境を創り、
街の保健室として地域の健康を見守る、
本町発の健康まちづくり推進プロジェクト

Copyright ©KIKUCHI CLINIC All Rights Reserved.

菊池信太郎活動基本方針

Smart Wellness Town
PEP MOTOMACHI

『福島の子どもたちを日本一元気に』
『日本の子どもたちの真の復興は福島から』

Smart Wellness Town PEP MOTOMACHI

医療法人仁寿会　菊池医院
菊池記念こども保健医学研究所

コラボ

周辺施設

子どもたちを元気にする（子育ち支援）

小児科一般診療、甲状腺相談診療、肥満外来
PEP Kids Koriyamaの運営、遊び場造り提案
子どもの現状調査研究
（肥満、体力・運動能力、生活習慣）
元気アップレンジャーショー、Child Health Up事業
絵本との関わり（子ども図書館）
食育啓発（子ども向け）

子どもを支える次の人を育てる（人材育成）

看護師育成（看護学校授業、実習受入）
保育士育成（保育学校授業、実習受入）
日本大学工学部客員教授（専門課程講義）

保護者を元気にする（子育て支援）

病児病後児保育室運営
病児移動サービス
子育て相談室（臨床心理士、SC）
保育施設訪問（保護者相談）
寺子屋、子育て講演・相談室
ママサロン開設、ママカフェ

関わる人を元気にする（地域の子育力Up）

気になる子どものケースカンファレンス
保育施設訪問（保育関係者相談）
食育啓発支援（関係者向け）
医学保育情報提供、医学保育子育てアドバイス、講演
養護教諭支援
街の保健室
成育政策提言

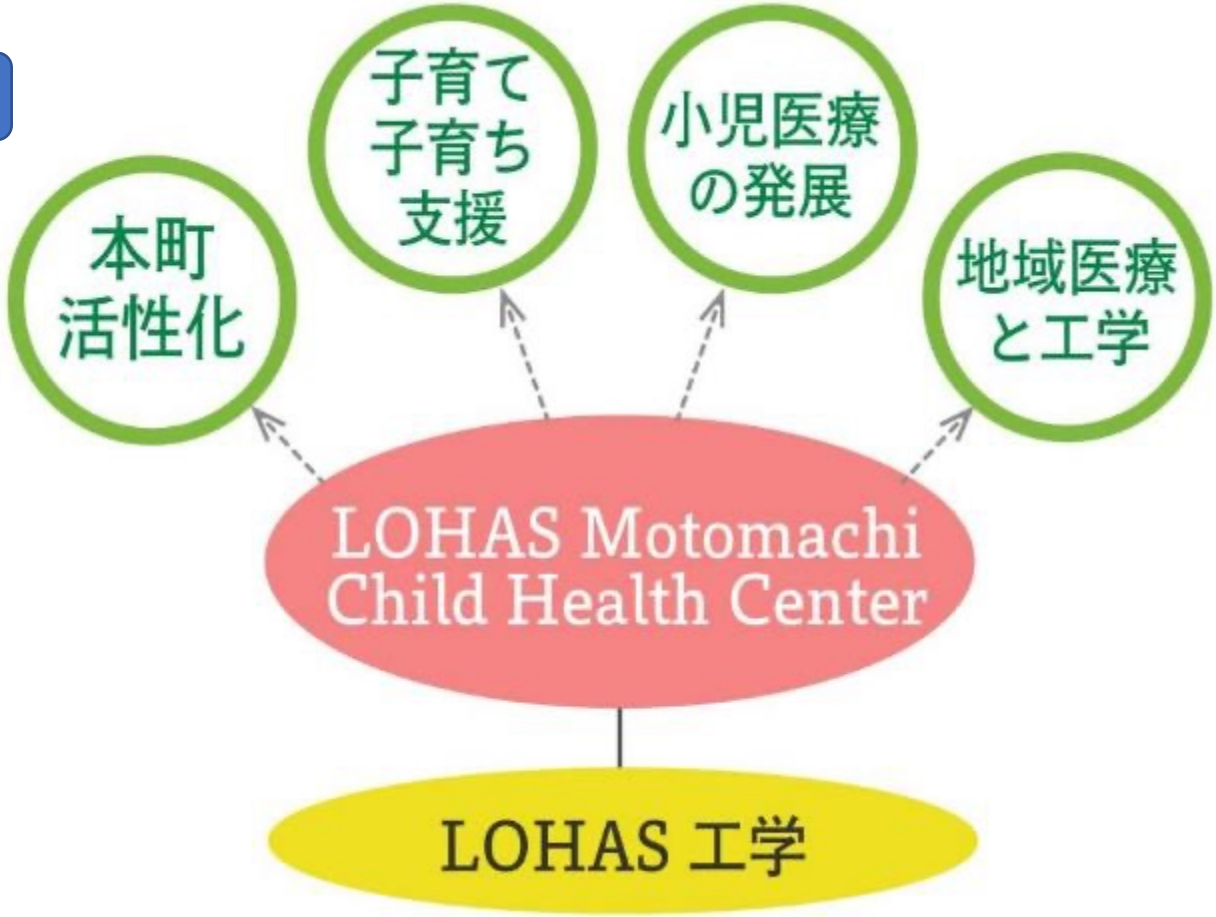
地域を元気にする（本町の再活性化）

本町への人の流れを増やす（魅力的な施設、イベント）
街の価値を上げる（地域財産となる）
新たな住人の確保（健康が保障される街）

初案：LOHAS Motomachi Child Health Center概念図

Smart Wellness Town
PEP MOTOMACHI

当初案



[プロジェクトの目的]

○ロハス工学に基づく診療所と付随施設を中心とした、**地域の子どもたちの健康を守り育て**、**地域の子育てを支援**し、**街を活性化**するための基地づくり

○既存の診療所の概念を覆す、事業の転換と施設運営を目指す

菊池医院の建て替え効果

Smart Wellness Town
PEP MOTOMACHI

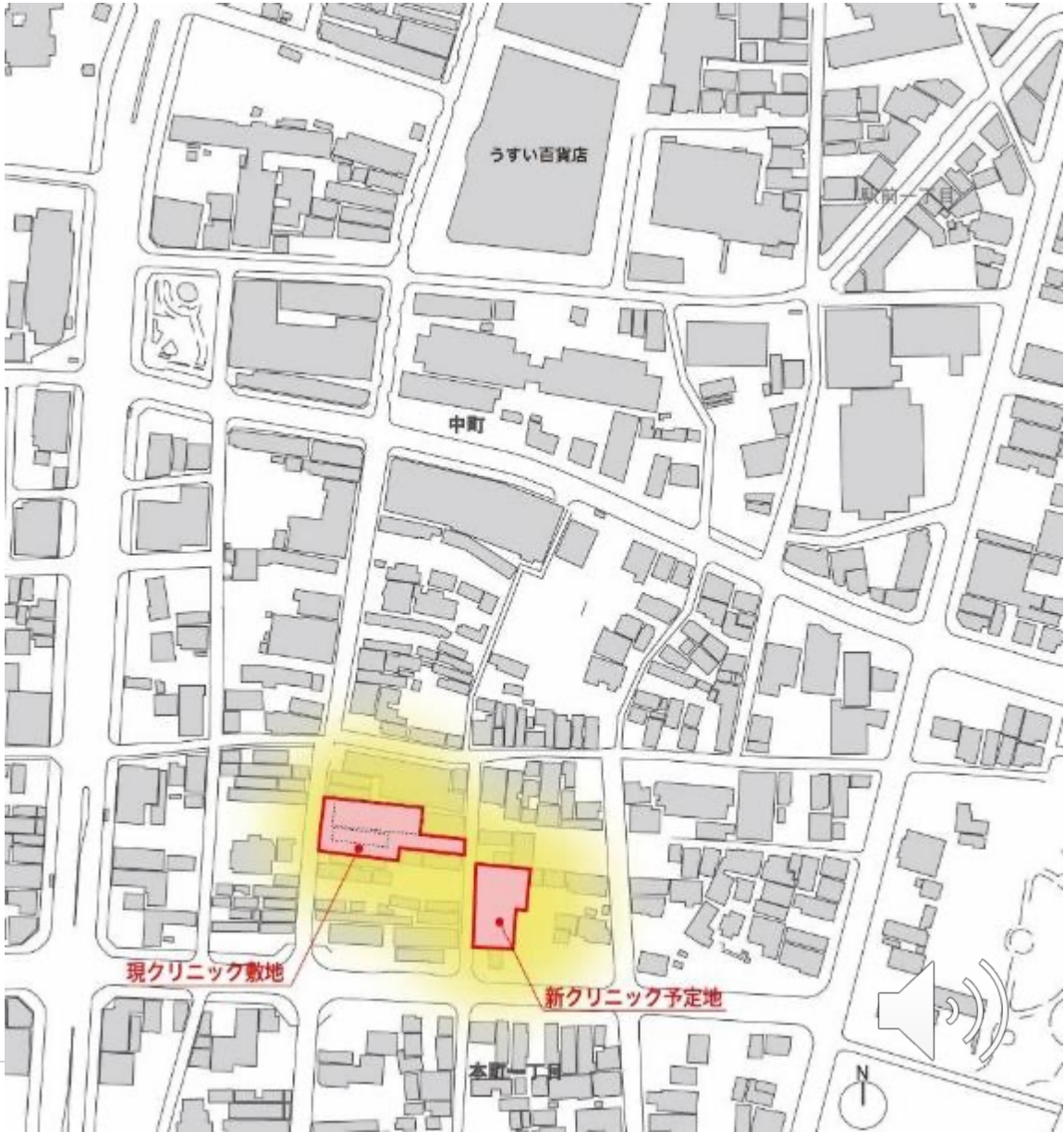
○郡山市の中心で空洞化の進む**本町に活気のある「場」**を作る

○子育て支援、子育ち支援の**サポートセンター機能**

○健康な子どもから病気の子どもまでをカバーする**小児医療の展開**

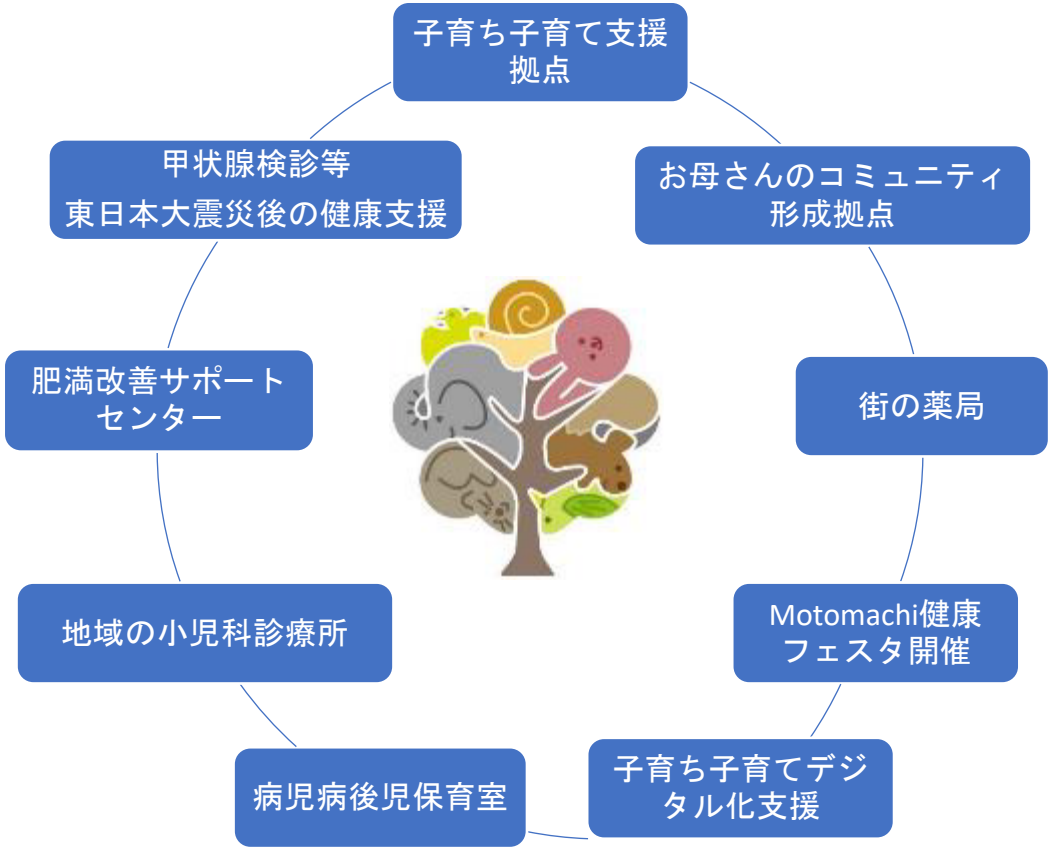
○**持続可能な建築**の実証、啓発を行う

○**地域医療**と**工学**の融合



『街の保健室』概念

Smart Wellness Town
PEP MOTOMACHI



○新たなクリニックはアプローチの工夫や、**寄り付きやすさ**に配慮することで、**「まちの保健室」**として、気軽に健康相談や立ち寄れるような存在を目指す。

○ ロハス広場を活用し、薬局やカフェと連動した健康イベントを行うことで、街中の**健康サポートの中核**となるクリニックを目指す。

Smart Wellness Town PEP MOTOMACHI

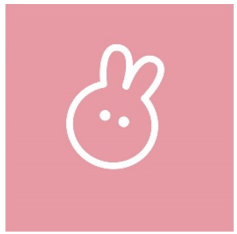
Smart Wellness Town
PEP MOTOMACHI

- 健康を維持し育む街作りを本町から展開
- 子どもの成育環境のモデルを実践
- 子どもと大人の街の保健室的存在に
- 子どもに関する困りゴトをワンストップで解決
- 働く保護者支援（病児病後児保育）
- 子育て不安を感じる保護者や関係者を支援
- 子育ち支援のサポートセンター機能
- 病気にならない（未病）の実践を子どもから始める
- 地球に負荷をかけない工学の実証実験場
- かつての街の賑わいを再生

Smart Wellness town PEP Motomachi構成

Smart Wellness Town
PEP MOTOMACHI

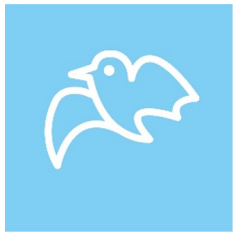
ぞう　菊池医院
象のようにどっしり優しい目で地域の子どもの健康を見守る小児科クリニック



うさぎ　病児病後児保育室「らびっと」
元気になったら兎のように飛び跳ねるよう
調子の悪いときはゆっくり休める保育室

きつつき　きつつきスクエア
菊池医院2階のイベントスペース
子育てサロン開催などコミュニティ醸成

りす　山口薬品 本町店
地域のかかりつけ薬局
くすり＋りす＝くすりす



かもめ　イノベーション・ラボ
まちの進化研究所。
プレイノベーション本町オフィス

かわうそ　おったーパーク
PEP MOTOMACHIのセントラルパーク兼駐車場
各種イベントを開催

かたつむり　LOHASの道
LOHASの考えを、ゆっくり、わかりやすく伝える遊歩道

健康まちづくり推進プロジェクト
Smart Wellness Town
PEP MOTOMACHI

医療法人仁寿会　菊池医院外観

Smart Wellness Town
PEP MOTOMACHI

Smart Wellness Town PEP MOTOMACHI第1弾として、令和2年6月11日移設開設
県内産の木材をふんだんに使用した縦ログ工法により施工
従来の診療所のイメージを払拭し、子どもの集まれる（集まりたくなる）環境を意識

小児クリニック　菊池医院

外観

フリーアドレスゾーン

病児保育ゾーン

水の貯留と、保水性のあるポーラスコンクリート
及び屋根への山水による夏場の冷却効果

木造のメリットである軽量化による、
地盤改良工法の簡易化と地中熱利用の検討

○健康的な空間・環境づくり
・木を使用することは、木質空間の心理的なストレス軽減効果やシックハウスの低減などがあり、居心地のよい空間づくりの重要な要素となっています。
・また、地震や災害にも安全・安心な建物としています。
・エントランスや待合スペースでのロハス機能の可視化をはかっています。

○フレキシブルな空間
建物中央部は、柱による区分けを行い、1F は診察処置部門/2F はフリーアドレススペースと回遊性のある計画としています。また、外来部門やフリーアドレスゾーンは、将来の増築や使い方の変化に合わせて変更可能となるよう、最小限の壁配置によりフレキシブルな空間構成としています。

診察待合

予防接種待合

診察待合

SMART Wellness Town PEP MOTOMACHI

○プロジェクトの目的

本プロジェクト Smart Wellness Town PEP MOTOMACHI は、元気な子どもを中心にした健康まちづくり推進プロジェクトです。郡山市の医療を支えてきた小児科診療所の移転新築に伴い、郡山市本町のまちづくりの視点からのエリアづくりを行っています。小児科診療所は、地域材を利用し縦ログ構法による建物とし、旧病院跡地には、木造仮設 (ログ仮設) を再利用した「子育て支援」「薬局」を設置し、エリア全体による本町活性化と、子供たちのためのエリアづくりをします。二つの建物をつなぐものとしてロハス (※1) の広場を設置し、子供達や地域の人が集まる公園とします。

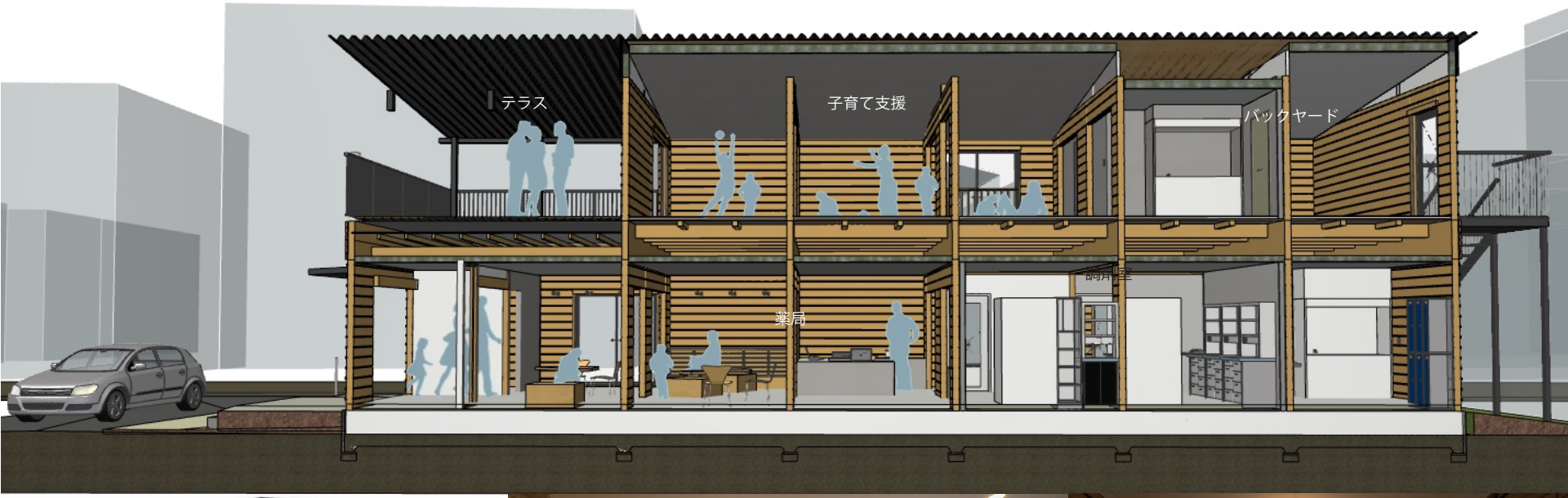
(※1)ロハスとは、Lifestyles Of Health And Sustinability　の頭文字を取ったもので、「健康で持続可能な生活スタイル」を意味します。

薬局・ラボ棟

Smart Wellness Town
PEP MOTOMACHI

薬局・子育て支援
山口薬局+プレイノベーション

1F に小児クリニックと連携した薬局と 2F に子育て支援にも関連するコワーキングスペースが入っている。
建築物自体は、東日本大震災におけるログハウス仮設住宅を再利用したプロジェクトである。建物を本町通り側に寄せ、医院との間に建物に囲まれた子供達のためのポケットパークを作っている。
来院時や、イベントなどの際にも気軽に寄ることのできる場所となり、子供の病気以外の時にも子供達が集まり、子育ての拠点として、また町の保健室としての役割を持つことを目指している。



外観イメージ
作成: 株式会社ボーネルンド

薬局待合室

子育て支援スペース

おったーパーク

Smart Wellness Town
PEP MOTOMACHI

ちょっとした息抜きの公園、子どもや保護者のコミュニティ形成の場所

Copyright ©KIKUCHI CLINIC All Rights Reserved.

「木の空間」をサスティナブルな技術で

Smart Wellness Town
PEP MOTOMACHI

縦ログ×小児科診療所

縦ログパネルの壁で構成された室内空間

木造仮設再利用×薬局ラボ

2019年ログハウス仮設住宅の解体風景
（福島県二本松市杉田農村広場仮設団地）

ログ仮設住宅の解体風景

ログ材（木造仮設部材）の保管

ログ材（木造仮設部材）の再建築

1・縦ログ構法

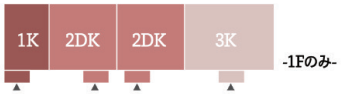
縦ログ構法とは、角材を一定の大きさに切り揃えて結束し、木の壁（パネル）を作る構法です。木の打放しの空間を体験することができ、横ログにはない新しい空間を作ることができます。このパネルひとつで構造・内装、断熱材の役割を果たす、単一多機能部材です。地元木材を使用し、地域の工場でパネルを作ることができるので、過疎化が進む地域の産業にも貢献しています。

ログパネル構造試験のようす

2・木造仮設再利用

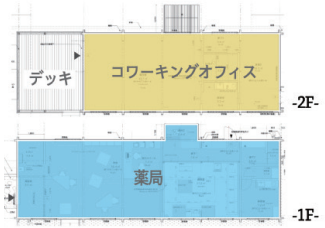
東日本大震災の仮設住宅として福島県内で利用された木造仮設住宅を解体し、再利用しました。

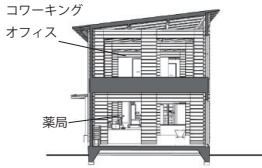
＜仮設時（住宅）＞



断面

＜再利用時（薬局・コワーキングオフィス）＞

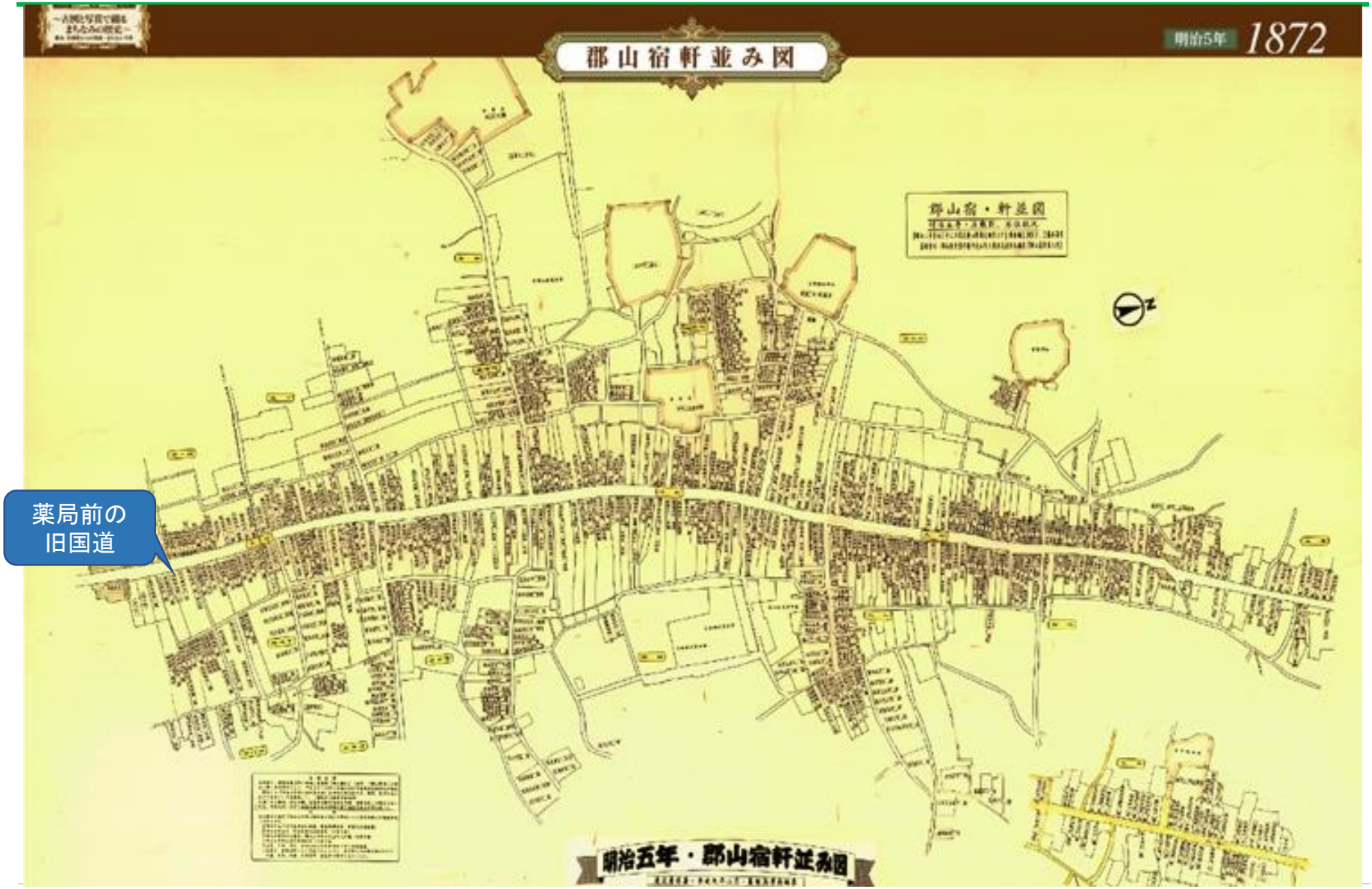




断面

本町地域の活性化
（旧宿場町の賑わいを取り戻す）

Smart Wellness Town
PEP MOTOMACHI



Copyright ©KIKUCHI CLINIC All Rights Reserved.

旧奥州街道関係　街並み

「明治時代の中町の風景-1」まだ"まげ"姿の人も多い。

「明治末、日露戦争時の中町」

「明治時代の中町の風景-2」電柱が無造作に立つが、商家の家並みが見事。手前右手の道路に突き出したものは、時計のオブジェか。

ロハス工学センターとのコラボ

Smart Wellness Town
PEP MOTOMACHI

日本大学工学部工学研究所 研究・地域連携
Research Institute of Engineering, College of Engineering, Nihon University
ロハス工学センター

HOME ロハス工学 プロジェクト 次

2020-04

スマート ウェルネス タウン ペップ モトマチ

https://www.ce.nihon-u.ac.jp/lohas_center/project10.html

Copyright ©KIKUCHI CLINIC All Rights Reserved.

Partners

Smart Wellness Town
PEP MOTOMACHI

医療法人仁寿会
菊池医院
KIKUCHI CLINIC

College of Engineering, Nihon University
日本大学工学部
工　学　研　究　所
（設計・コンセプト）

あなたの健康に奉仕する
山口薬品株式会社

Haryu Wood Studio.corp.
はりゅうウッドスタジオ
（設計・コンセプト）

PLAINNOVATION Inc.

税理士法人 三部会計事務所
Sanbe Accounting Group
（プロジェクトサポート）

陰山建設株式会社
（建築、外構）

すべてを地域のために
東邦銀行
（診療所建築サポート）

あそびから
未来をかえる
BørneLund
ボーネルンド
（外構：遊び場）

地域をつなぎ、地域と共に歩む
須賀川信用金庫
（薬局棟建築サポート）

Copyright ©KIKUCHI CLINIC All Rights Reserved.

補足

Smart Wellness Town
PEP MOTOMACHI

●LOHAS：Lifestyles Of Health And Sustainability

「健康で持続可能な生活スタイル」を意味し、これからの人類に求められる生き方。日本大学工学部では、このような生き方を可能にするための工学を『ロハス工学』と名付け、2002年より教育と研究を開始。

●薬局と診療所は、医薬分業にのっとり経営的にも構造的にも分離している

Copyright ©KIKUCHI CLINIC All Rights Reserved.